

2013 年度 基本方針

—市民に開かれたNPOをめざそう—

1・東日本大震災・原発・そして貧困・いじめ・体罰と子どもたち

死者・行方不明者 3・5 万人以上の未曾有の被害を出した大震災から 2 年が過ぎました。

この間、東北各県の普及は徐々に進みだしましたが、新たな地震・津波対策や被災者の救済・普及事業には依然とし困難を抱えています。とりわけ市民の「原発 NO」の声は一時的に「原発」の稼働停止状態を実現しているものの、再開の動きもあり予断を許せません。他方、「新自由主義」的な「競争と自己責任」の風潮のなかで、子どもの生活や教育状況には様々な「貧困」、「格差」が顕在化しています。とりわけ貧困化率は 15.7%世界的にもワーストランクに位置づきます。給食だけで生活する、着替えがなく匂いによっていじめられる子どもたちも現れています。また、大津いじめ事件にみるように子どもの生活世界が変化しており文化協会の「子どもの居場所や権利条約を生かす活動」がますます重要になってきています。（「中長期ビジョン」参照）

当協会ではこのようななかで事業報告にもありますように乳幼児から青年（大人）の相談・発達と居場所の提供等の育成事業を多面的に進めてきました。16 余りの事業活動をさらに発展させるためにも会員・理事・事務局の相互理解と創意が求められています。

子どもの最善の利益を保障するNPO法人が今回の大震災や、原発問題をも含め、子どもと教育の創造的発展にいかに関与できるのか、今総会でもぜひ協議しましょう。

2・NPO と「新しい公共」について

2013 年、NPO 活動の広がりはその件数でも 45,000 以上（大阪府は約 3,000）となり予想以上に拡大してきました。しかしながらそれらの活動は必ずしも順調であるかと言えば決してそうではなく課題を抱えた NPO も少なくありません。

NPO は、市民社会の個人間をつなぐステークホルダーとして、行政、企業セクターとともに連携し「新しい公共」を牽引する社会関係資本の重要なセクターを担う役割を使命としています。しかしながら、NPO 事業の具体的役割が明確に設定されないために、事業そのものが停滞することもしばしば見られます。

そこで今回の総会では前回整理した 4 分野（「乳幼児子育て支援部門」、「青少年・育成事業部門」、「中間支援事業部門」、「研修・啓発事業部門」・組織編成案参照）を市民活動セクター役割として明確化しました。この事業には新しい理事会のメンバーが各自の専門性を

活かして会員の皆様と共同して取り組みを推進してゆきます。

3・事務所機能を生かし活動の広がりや深まりをつくる。

昨年度の総会でも提起しましたように、本協会はNPO法人として本年度で13年目を迎え、「新しい段階」に入っているとの問題提起をしました。活動や各種自主事業・受託事業の広がりや質の高さや、企業・行政からの評価も相当高い者があります。とくにこの間新しい事務所移転を契機にNPO活動の新たな展開が期待されます。本総会でもこの点での議論を深めたいと思います。また、広報誌インファーマの内容については紙面改善だけでなく内容面でも他のNPO団体の広報活動をしのごく充実したものになり評価を高めています。

本総会では今一度この「新しい段階」のもつ「強みと成果」を会員相互で確認し合うとともに、同時に組織の持つ経営面、あるいは組織面での課題（弱点）についても明らかにし相互に意見交換しなければなりません。

理事会の機能を充実させるために、常任理事会での機能的対応をすすめること、また会員相互の交流を図ること。財政業務は円滑且つ透明性を堅持すること。その他今回は就業規則の見直しを喫緊の課題として改善してきました。新しい年度はこれらのスタッフの活躍が期待されます。

4・理事会と事務局のコラボレーションを図る

関西子ども文化協会が「新しい段階」に入り、国もまた「新しい公共支援事業」としてNPOなどの活性化と協働を予算化しました。認定NPOへの参画をはじめ、私たちは、中間支援組織として「民による新しい公共」を具体化するために市民を巻き込んだ取り組みが必要です。方針で述べましたように、子どもの最善の利益を保障するNPOとして、大震災・子どもの貧困化に向き合い、社会に開かれた組織をはかりながら、「子どもの権利の保障」と「子ども参画」をどう積極的に推進するのか、これらのことを実現するには、理事会と事務局の協同が必要不可欠です。理事会と事務局のコラボレーションは「共に学ぶ」ことから始めていきたいと思えます。

次年度では、会員、ならびに理事会の一人一人が本格的参加と介入ができるように、活動の透明性と共同性が高められることが今後のキーポイントとなります。

このことを総会ではぜひ議論し確認したいと考えます。